

# 「いわて県民計画（2019～2028）」

## 第3期アクションプラン の策定について

---

令和8年7月  
県北広域振興局

# 第3期アクションプランの策定

➤ 県では今年度、以下の基本的な考え方等に基づき、「第3期アクションプラン(令和9年度～10年度)」を策定することとしています。

## ■ 基本的な考え方

- ① いわて県民計画（2019～2028）の終期を見据え、第1期及び第2期までのアクションプランの評価結果や東日本大震災津波からの復興の進捗、人口減少の進行など社会経済情勢の変化等を踏まえ、策定する。
- ② 地域内外の方、市町村、企業、団体等、様々な主体から広く意見を伺う。

## ■ 第3期アクションプランの方向性

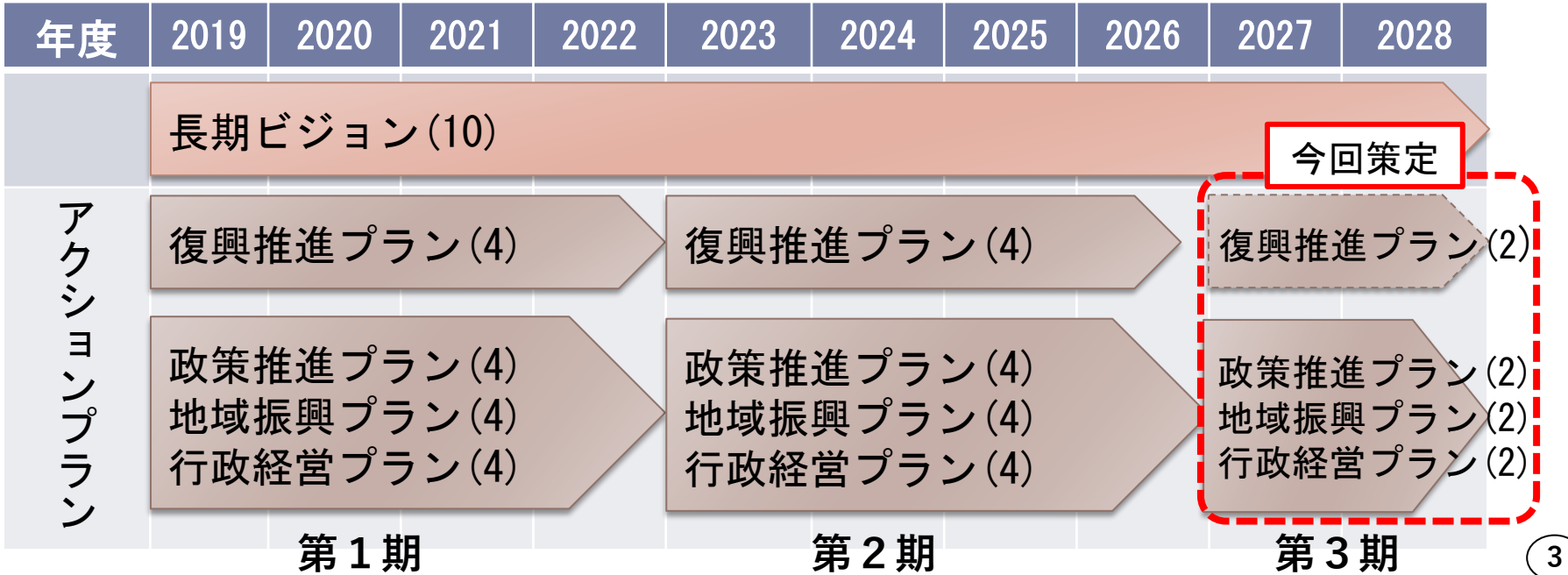
第2期アクションプランの取組の成果や社会経済情勢等を捉え、**強みを有する領域を更に伸ばす**とともに、長期ビジョンに掲げる基本目標の実現に向けて、10の政策分野全体の**底上げ**を行う。

**今後2年間で特に強化すべき事項について、「強みを更に伸ばす観点」と「底上げが必要な観点」の二つの視点から御意見を願います。**

※ 御意見は、同時期に策定する地方創生に関する地方版(県)の次期総合戦略の参考としても活用させていただきます。

# I-1 いわて県民計画（2019～2028）の構成

|              |                                                                                                                                                    |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長期<br>ビジョン   | <p>長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの</p> <p>[計画期間：2019年度から2028年度までの10年間]</p>                                               |
| アクション<br>プラン | <p>長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方策を盛り込むもの</p> <div> <div>復興推進プラン</div> <div>政策推進プラン</div> <div>地域振興プラン</div> <div>行政経営プラン</div> </div> |



## I-2 計画の理念

- 県民一人ひとりがお互いに支えながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めること
- 地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持ち、共に支え合いながら岩手県の将来像を描き、その実現に向けて、みんなで行動していくこと
- 社会的に弱い立場にある方々が孤立することのないように、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の観点に立った取組を進めること

## I-3 基本目標

**東日本大震災津波の経験に基づき、  
引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて**

# I-4 政策推進の基本方向

主観的幸福感に関する12の領域をもとに、「健康・余暇」から「自然環境」までの8つと、これらを下支えする「社会基盤」「参画」を加えた10の政策分野を設定。

各政策分野に、幸福に関連する客観的指標(いわて幸福関連指標)を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開。

**I 健康・余暇** 健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

**II 家族・子育て** 家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手

**III 教育** 学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

**IV 居住環境・コミュニティ** 不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手

**V 安全** 災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手

**VI 仕事・収入** 農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手

**VII 歴史・文化** 豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

**VIII 自然環境** 一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手

## IX 社会基盤

～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～

## X 参画

～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～

## Ⅱ-1 第2期地域振興プラン（県北広域振興圏）

県北広域振興圏の目指す姿の実現のために設定した長期ビジョンの「取組方向」に基づき、3つの「振興施策の基本方向」と、特に重点的に取り組む14の「重点施策項目」を設定。

### I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域

- 1 多様な交流・連携により地域コミュニティを活性化します
- 2 文化芸術・スポーツの持つ力を地域活性化へとつなげていきます
- 3 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくりします

### Ⅱ 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域

- 4 災害に強い社会基盤を整えます
- 5 新しい交通ネットワークを中心に、地域経済や暮らしを支える社会基盤を整えます
- 6 環境を守り育てる人材を育成し、多様な主体との協働を進めながら、良好な自然環境を守ります
- 7 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした持続可能な地域づくりに取り組みます

### Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

- 8 北いわての農畜産物のブランドを確立し、多様なスタイルでいきいきと暮らせる農村をつくりします
- 9 地域材や特産林産物の生産体制の強化と需要拡大に取り組みます
- 10 担い手の確保・育成や漁業生産量の回復・向上を進めます
- 11 北いわての魅力ある食材を生かした食産業を盛んにします
- 12 アパレル産業など高い技術力を有するものづくり産業を盛んにします
- 13 隣接圏域等と連携した広域観光を進めます
- 14 雇用環境の改善と若年者などの就業支援を進めます

## 第3期に向けた重点化の方向性（例）

#### 【強みを伸ばす】

- ・御所野遺跡やみちのく潮風トレイルなどの観光資源
- ・ブランド米「白銀のひかり」

#### 【底上げする】

- ・人口減少対策
- ・若者女性活躍支援

## Ⅱ-2 構成員の皆様から伺いたい事項

- ① 今後2年間で重点的に伸ばすべき県北の強みは何か。
- ② 若者・女性に選ばれる地域となるために必要な取組は何か。
- ③ 人口減少対策として優先すべき施策は何か。
- ④ 地域の持続可能性確保のため重視すべき課題は何か。